

# 拓水

題字は 県漁連三浦会長

6 月号  
No. 117

発行所  
兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県水産改良普及協会  
神戸市兵庫区新在家町 123  
発行人 三浦清太郎  
TEL 078-63016685  
編集 拓水編集委員会  
発行日 毎月 30日  
一部10円  
昭和32年10月18日  
第3種郵便物認可

## 三浦清太郎氏に叙勲 塩崎義民氏に叙勲

本県漁業界の功労者である両氏は、四十一年春の叙勲により四月二十九日の佳節に次のおりそれぞれ叙勲の栄を受けられました。ここに深く敬意と祝意を表します。



三浦氏



塩崎氏

### ご挨拶 三浦清太郎

山は緑で登山に良し、海は魚じまで釣りに尚良しの好季節、殊に偶然にも、私の誕生日の去る五月十二日、水産関係の功績の意味で、我が系統漁業界では、最高と聴く勲四等瑞宝章受章の光栄に浴したのであります。憶うに私奴、業界人、社会人として当然過ぎる程当然な行動を取って過ぎて、叙勲とは余りにも榮誉で全く感激の極みであります。従ってこれは偏らに諸関係の皆様方のご保護と、ご支援、ご鞭撻の賜なりと、堅く信じて共に、謹んで衷心より厚く御礼を申し上げます。ところが、受章後の考え方について、種々な意見を耳にしますが、私なりのこの種考への割り切り方は、現時点の生存者の叙勲は、年令に厳しい制限がある意味で、兎に角私は受章は名譽の戒名を戴いたと解すると共に、勲章とは今はつるもではなく、胸に秘めて、この榮誉に堪えるべく、今後の余生は総て奉仕の一途を以て、終始一貫したいと思うのが、現在の心境なのであります。何卒今後よろしく御支援、御鞭撻の程を伏して御願ひ申し上げ、御挨拶の辞と致します。

### ご挨拶 塩崎義民

私は昭和六年二月に佐野浦漁業組合の組合長に選ばれまして以来三十有六年県漁連に於きましても昭和十三年二月に小畑種吉氏等の設立に参加理事の表名を汚しまして以来、二十余年今日に至っております。その間兵庫県水産協会、内海漁連、信濃漁連、県漁連等の設立、幾多の交遷もあり一漁民としても大きな事件も沢山ありましたが、幸にして県当局の御指導御鞭撻と先輩や同志諸君の御努力で大過なく今日迄生き延びて参りました。さきに知事君や全漁連会長大日本水産会長諸氏より表彰を受け、昭和三十六年五月に農林大臣より表彰の栄に浴し同三十七年五月に黄綬褒章を授けられ、今回五等雙光旭日章を拝授の上、宮城北の間で天皇陛下より有がたきお言葉をお聞き重々々々、の光栄に只恐慚懼感激致しております。誠に身にあまる光栄これ一重に皆様方の永年の御厚情の賜でありまして謹んで御礼申し上げます。

### ニジマスの海水放流の結果判明

兵庫県水産課では、瀬戸がわが二カ月ほどの間に内海栽培漁業協会(会長長金井兵庫県知事)と共同で、五徳(体長百五十五センチ、約五・五徳)となつて居るニジマス(海水性)を、五月月中旬で約四十尾が再捕され、いずれも順調に育つて居ることがわかつた。この試みは全国でもあまり例がないので、水産庁はじめ関係方面から期待と関心が集められて居る。去年十二月初め、淡路の岩屋共栄漁協の水槽に体長十二センチ前後のニジマス稚魚を入れて二週間ほど、酸素・塩素量を調整しながら少しずつ海水に馴らした(海水馴化)この馴化された稚魚のうち約四十尾を福良湾内の栽培漁業福良中間育成場で一カ月間飼育した。今年二月下旬に約二十尾と福良湾内へ共々約二十尾ずつ放流してその成長ぶりや分布状況を調査しているものである。去年今冬も、明石海峡一帯が断然すぐれた成績を示しています。大阪・神戸のコンブ加工業者はこの試験に非常に強い関心を持ち、色々の形で協力してくれる。

### 明石海峡はコンブ養殖の適地

この種の養殖コンブも五月中旬現在、早いところは二メートルに達し、温帯性のおけるコンブ養殖の可能性はますます高くなつたといえます。去年今冬との海中養殖試験地は同のとおりですが、地区ごとに異つた施設でやがた去年も、同じ施設でおこなつた今年も、明石海峡一帯が断然すぐれた成績を示しています。大阪・神戸のコンブ加工業者はこの試験に非常に強い関心を持ち、色々の形で協力してくれる。

### アイナメ(アブラメ)の稚魚放流

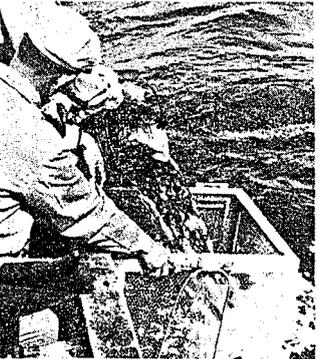
去年に引き続き、今年もまた県水産課では、瀬戸内海栽培漁業協会から明石市二見沖産のアイナメ稚魚(平均体長十センチ)七万尾の配布を受けて次のところに放流した。  
このアイナメは、放流後われているところでは成長あまり遅くない魚である。よく、秋から冬にかけてため、地元漁業者による禁漁対象魚となり、漁業者の漁区、禁漁期間の設定等、漁獲のよい収入源として喜ばれ自主的保護措置がよく行なわれている。

放流尾数	場	所	放流月日
二〇、〇〇〇尾	淡路町岩屋沖	五月十日	
一〇、〇〇〇尾	西淡町淡沖	五月十二日	
一〇、〇〇〇尾	南淡町福良湾	"	
七、〇〇〇尾	神戸市須磨沖	五月十三日	
八、〇〇〇尾	淡路町岩屋沖	五月二十五日	
二、〇〇〇尾	東浦町坂口沖	"	



### 漁船技術修練会開催のお知らせ

漁船技術修練会は毎年二、三回、県内漁業者を対象に漁船の運転技術修練のための講習会を開催し、毎回好評を博しているが、本年第二回(一回目は坊勢に於て実施中)として次のとおり決定したのでお知らせします。詳細は県水試または但馬漁連までお問合お願ひいたします。  
一、修練科目  
機関術(内燃機関内機機間)にたれば、背丈の伸



(5月10日岩屋沖の放流)

昨年年度の調査によると、六月中旬に放流したアイナメの稚魚が十二月一月に六・一七倍の約一〇〇グラムになり、一尾当り平均三〇円に達して十五・二〇倍と移動もせず、放流地点附近で棲息していることもわかつた。(水産課)





